

河曲地区地域計画

2020年～2023年



河曲地区地域づくり協議会

2020年3月

目 次

| | |
|--------------------------|-----|
| 1 はじめに | P1 |
| 2 地域づくりの基本目標 | P2 |
| 3 河曲地区の姿(現状分析) | P3 |
| (1) 地区旗・地理 | P3 |
| (2) 地域の成り立ちと人口 | P3 |
| (3) 地域の主な資源 | P5 |
| (4) 住民意識と地域課題 | |
| (住民アンケートとワークショップの結果) | P6 |
| 4 河曲地区地域づくりの基本方針と取組(課題別) | P12 |
| 5 組織図 | P14 |
| 6 おわりに | P14 |

1 はじめに



河曲地区地域づくり協議会
会長 萩 義彦

河曲地区地域づくり協議会は、河曲の皆さまが、いつまでも元気で住みよい地域であるために、鈴鹿市地域づくり協議会条例に基づき、「河曲地区地域計画」を行政の支援を受け、協働で策定しました。

地域計画の策定にあたりましては、平成30年10月、河曲の皆さまを対象とした住民アンケートに御協力いただき、多くの声をお聞きしました。その御意見に基づいて令和元年度、地域づくり協議会を中心に、すでに地域づくりを行っている各活動団体に集まっていただき、4回のワークショップを行いました。ワークショップでは、各団体の現在の活動をふまえつつ、河曲地区の宝物に光をあて、また、取り組むべき課題などを洗い出し、この計画をまとめました。

河曲地区は、中央部を一級河川鈴鹿川が流れ、川の南北に集落が集まっています。歴史的・文化的な遺産もたくさんあり、いきいきと活発なスポーツイベントなども盛んに行われ、子どもから大人まで、世代を越えた人と人とのつながりが深い地区です。このような、河曲地区をこれからも大切にして、次の世代へとつなげていく、そのような思いをもって目指す将来像を描きました。

2 地域づくりの基本目標

昭和22年の河曲地区航空写真



河曲地区の今とこれから

河曲地区は、スポーツ行事が盛んで、地域のまとまりがあります。また、伝統行事もたくさんあり、子どもの安全を確保する取組を役員さんや会長さんが熱心に行っています。

しかし、そんな河曲も人口減少や少子高齢化が進み、人付き合いも希薄になりつつあります。地域内の学校・体育館や公民館を始めとする公共施設の老朽化も進み、公共交通の整備も行き届いてはいません。

そんな状況でも、自然豊かな河曲では、自治会内の協力体制が出来ており、若い人が行事に参加し、地域を地域で見守っています。

今後は、防災や防犯への取組をより充実させるため、皆が優しさで結束し、高齢者の移動手段や担い手不足、学区問題、交通安全や道路施設問題の解決に取り組んでいきます。

3 河曲地区の姿(現状分析)

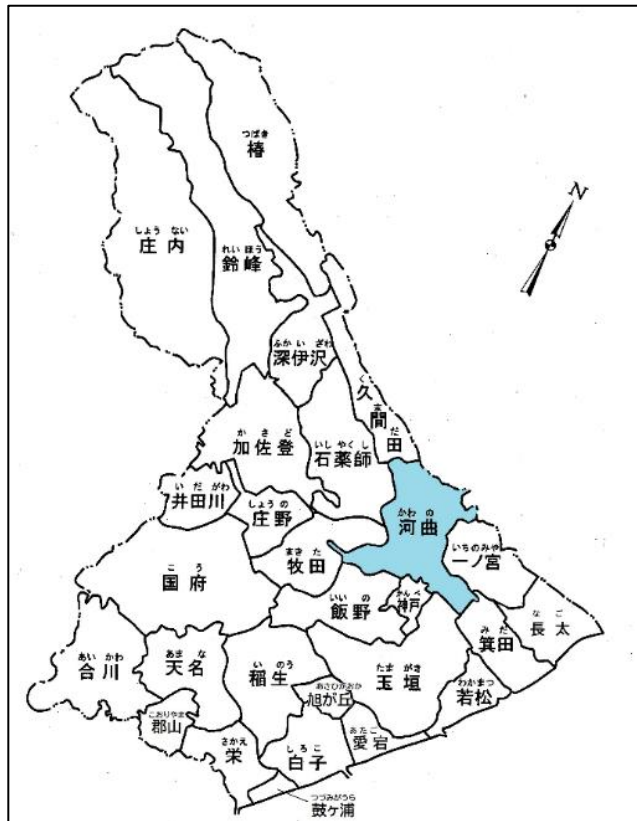
(1) 地区旗・地理



意匠〔河曲の地勢〕

ゆるやかに曲折して流れる鈴鹿川を中心にして広がる河曲地区。左岸は丘陵、右岸は田園の地勢を曲線で表現。配色は丘陵地＝「おうどいろ」、田園地＝「きみどり」、川＝「しろ」、「あお」にして情景にふさわしい色を選定。

(市民体育祭地区旗説明資料より)



河曲地区は、中央部を一級河川鈴鹿川が西から東へ流れ、川南と川北に分かれ木田橋が南北間を結んでいます。

鈴鹿川以南の平野部には、河田を中心に十宮、須賀の集落と野辺、竹野の集落があり、田園地域と住宅団地が共存しています。

鈴鹿川より北の丘陵部には、歴史的文化遺産が数多く残る国分、木田、山辺、大谷の集落が位置しています。

(2) 地域の成り立ちと人口

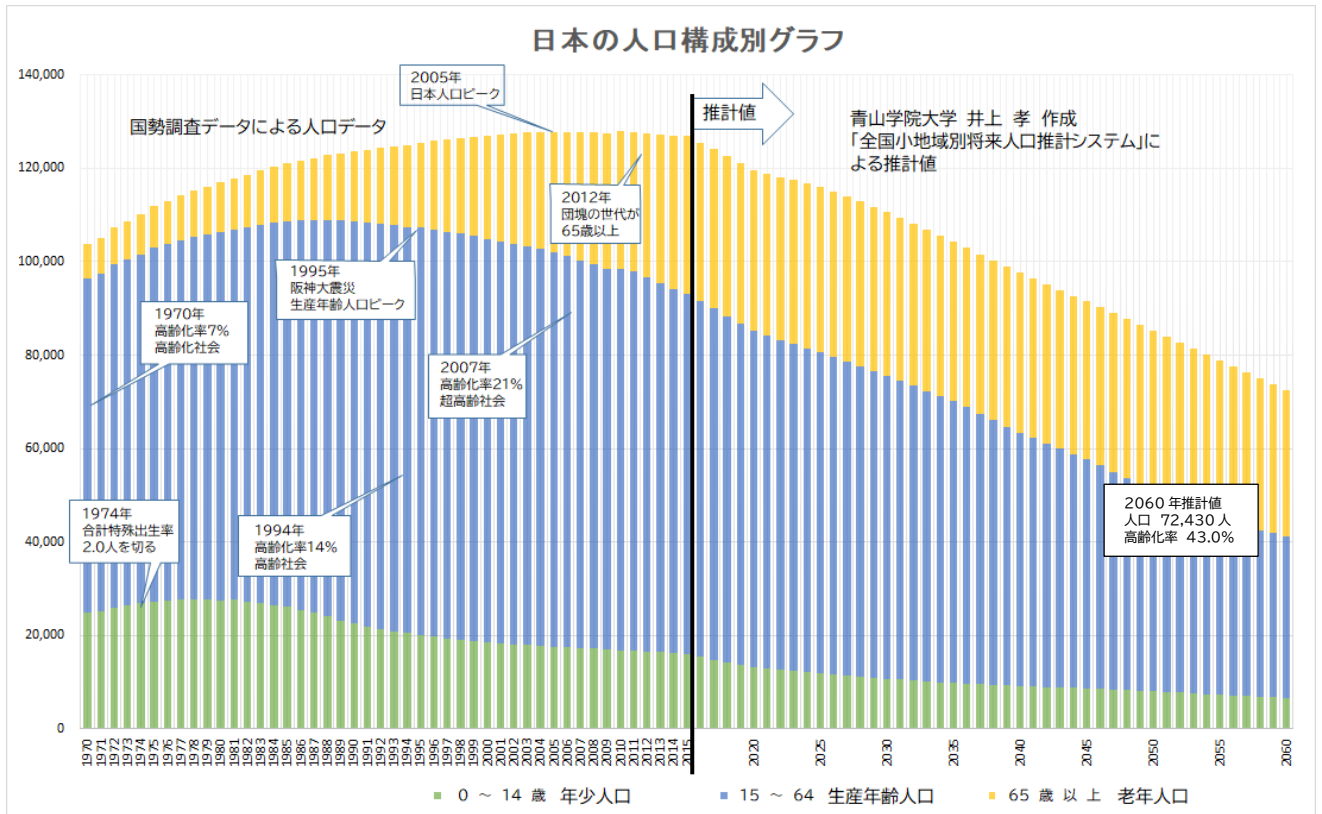
明治22年(1889)河曲地区は、河曲郡河田村、野辺村、竹野村、木田村、国分村、山辺村、十宮村、須賀村の計8集落を以って、川曲村が発足しました。

明治24年(1891)川曲村から河曲村に改称しました。

明治29年(1896)河曲郡と奄芸郡が一つとなり、河曲郡河曲村から河芸郡河曲村となりました。

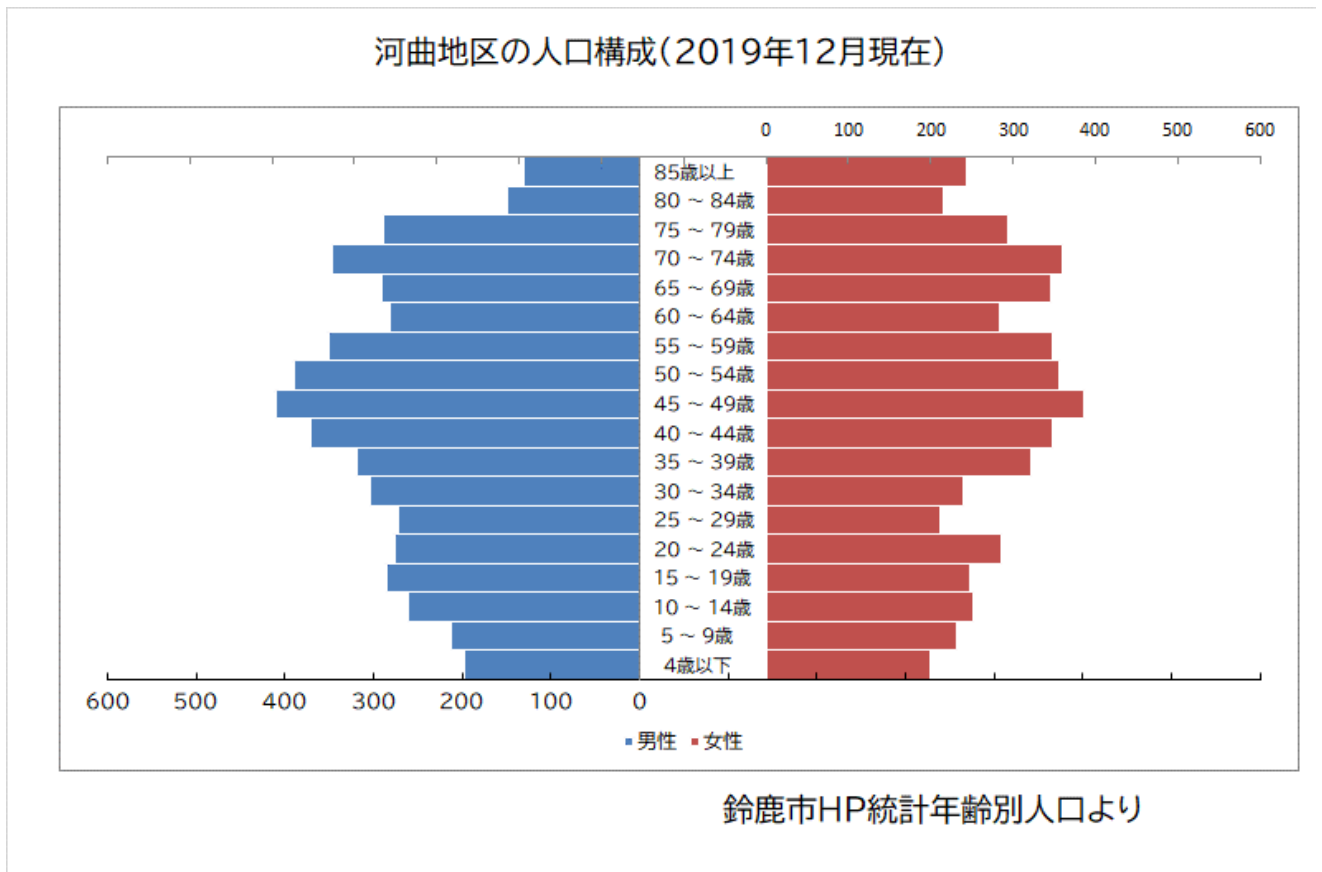
昭和17年(1942)12月1日、河芸郡の二町七か村である白子町・神戸町・稲生村・河曲村・飯野村・一ノ宮村・箕田村・玉垣村・若松村と、鈴鹿郡の五か村である国分村・庄野村・高津瀬村・牧田村・石薬師村が合併して鈴鹿市が発足。同日河曲村が廃止されました。

日本の人口動態(国勢調査より)

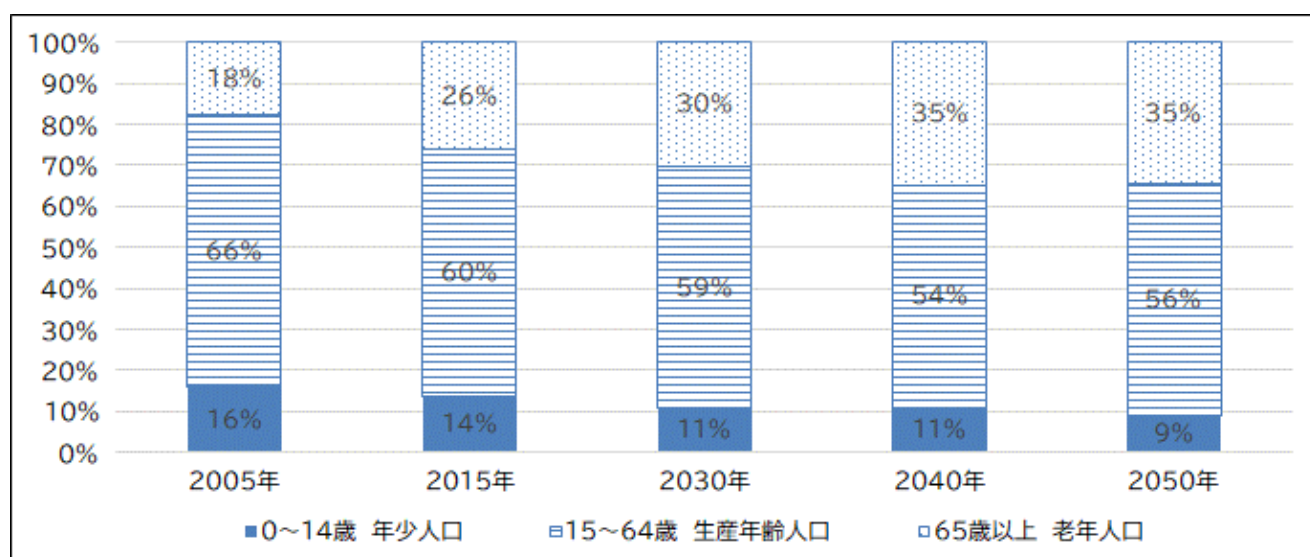
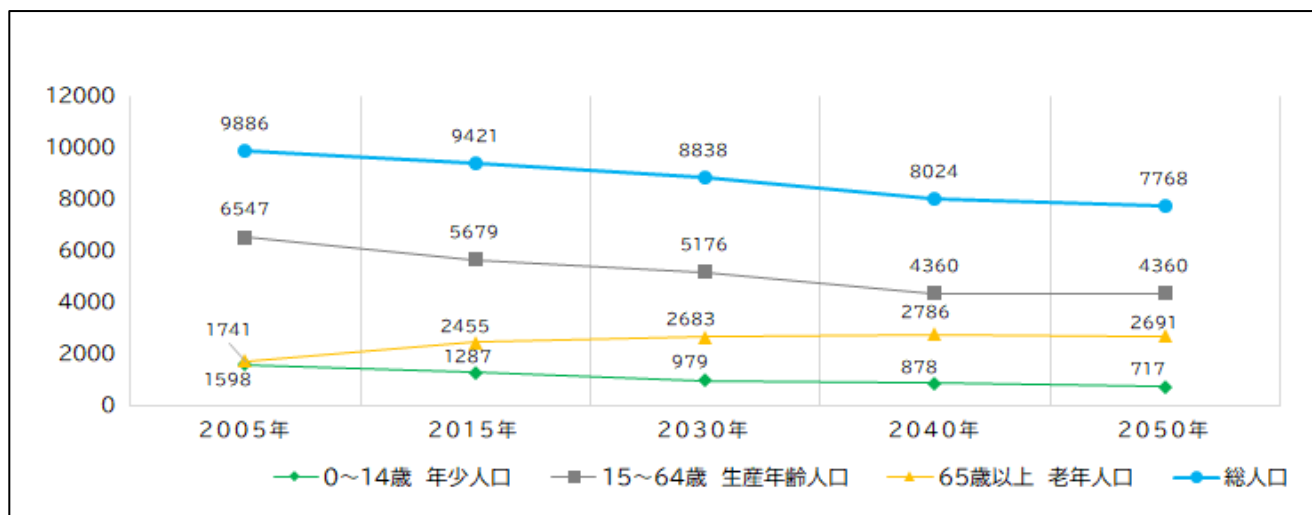


河曲地区の人口動態(住民基本台帳より)

河曲地区の人口 10,292人 (男5,129人 女5,163人)
4,450世帯



河曲地区の人口構成グラフ(国勢調査より)



※ 2015年までは国勢調査結果による

※ 2030年からは全国小地域別人口推計システム URL <http://arcg.is/1LqC6qN>
(作成者 青山学院大学 井上 孝)

(3) 地域の主な資源

指定文化財一覧

| 指定区分 | 名称 | 概要 |
|----------|---------------|-------------------------------|
| 史跡 | 伊勢国分寺跡 | 聖武天皇の詔勅で建立、僧寺跡 |
| 県指定有形文化財 | 木造天神坐像 | 菅原道真の像、平安後期の作 |
| 市指定有形文化財 | 八重垣神社遺跡出土弥生土器 | 弥生時代前期の沈線文系壺形土器、平成20年(2008)出土 |

資料: 鈴鹿市文化財課

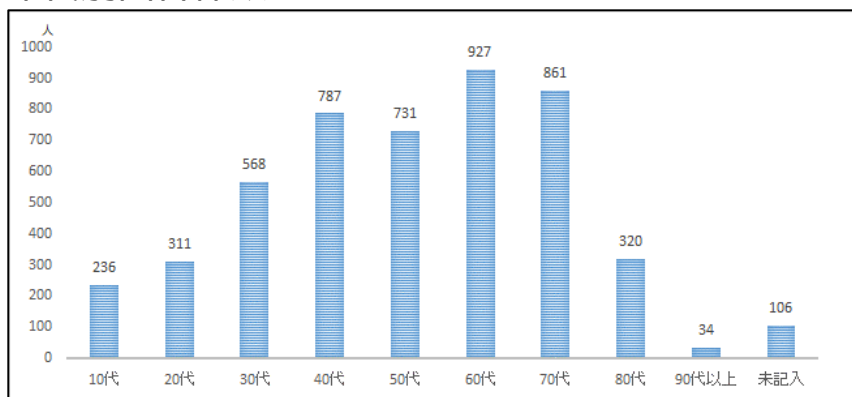
(4) 住民意識と地域課題(住民アンケートとワークショップの結果)

【住民アンケートの結果】

回答人数 4,881 人(回答世帯数 2,246 世帯)

男 2,076 人 女 2,346 人 未記入 459 人

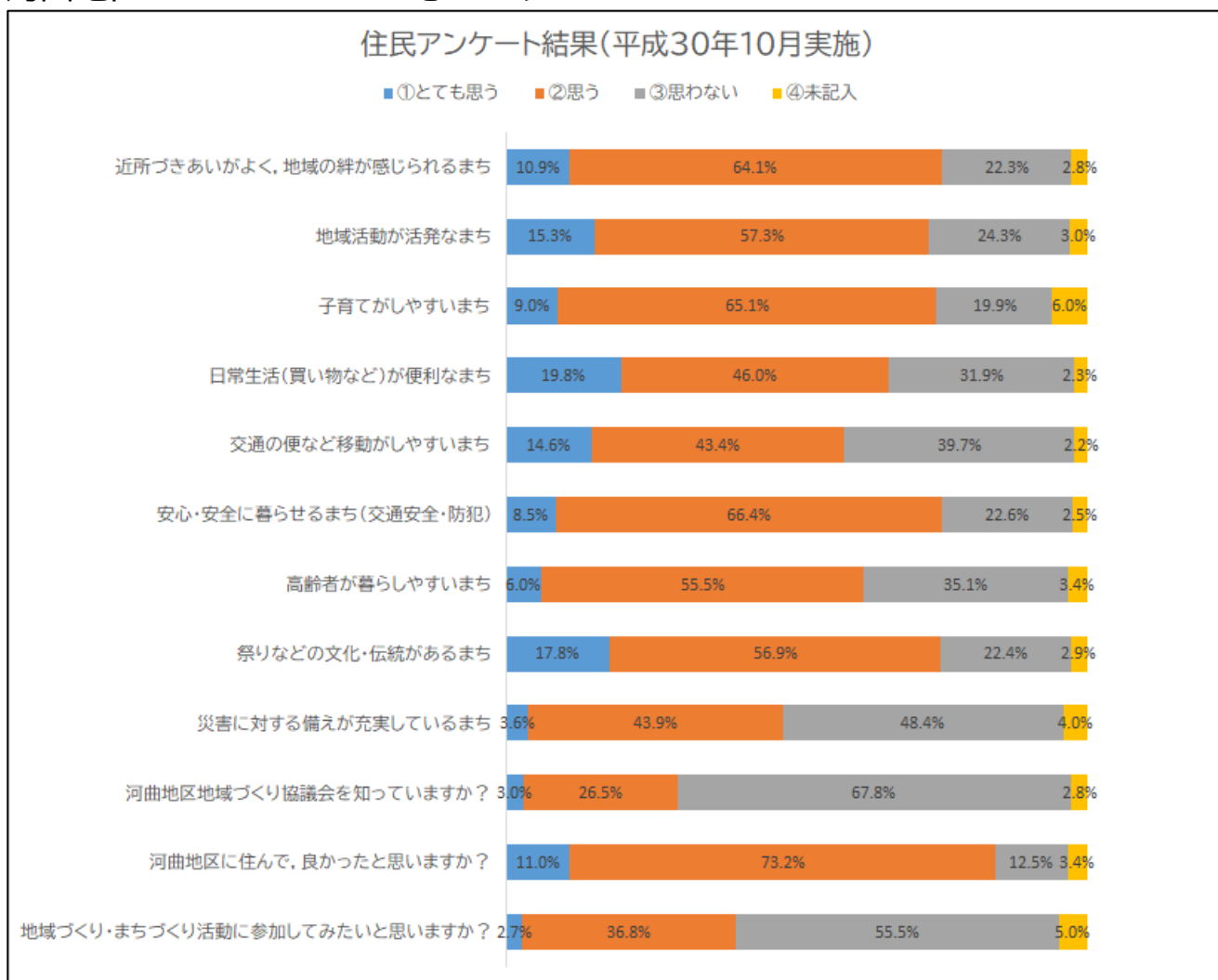
年代別回答件数



アンケートは、広報誌配布世帯 3,515 世帯の 64% に当たる 2,246 世帯 4,881 人に回答いただきました。

年代別では、高い順に 60 代(19%)、70 代(18%)、40 代(16%)、50 代(15%)となっています。

河曲地区はどんなまちだと思いますか？



【自由記述】

河曲地区のよい(大切にしたい)と思うところは、どんなところですか？

(総数 624 件)

| | | |
|-----|-----------------|------|
| 1位 | 人づきあいのある地域 | 58 件 |
| 2位 | 静かで住みやすい | 55 件 |
| 3位 | 自然が沢山残っている | 43 件 |
| 4位 | 盛んな地域活動 | 41 件 |
| 5位 | 地域に絆がある | 38 件 |
| 6位 | 伝統文化を大切にしている | 36 件 |
| 7位 | 祭り等の交流の場が充実している | 32 件 |
| 8位 | 河曲地区スポーツフェスタ | 26 件 |
| 9位 | 安全・安心な地域 | 21 件 |
| 10位 | 優しい思いやりのある地域 | 19 件 |

河曲地区で、改善したほうがよいと思うところは、どんなところですか？

(総数 675 件)

| | | |
|-----|-------------|------|
| 1位 | 交通安全の強化 | 61 件 |
| 2位 | 交通の便の改善 | 53 件 |
| 3位 | 防犯設備の拡充 | 52 件 |
| 4位 | 地域活動の負担を減らす | 39 件 |
| 5位 | 地域の繋がりの強化 | 28 件 |
| 6位 | 避難所の整備 | 24 件 |
| 7位 | 地域活動の整理 | 23 件 |
| 8位 | 災害対策の設備整備 | 23 件 |
| 9位 | 交通関連の施設等の整備 | 21 件 |
| 10位 | 子どもの安全確保 | 20 件 |

河曲地区地域づくり協議会で取り組んでほしいことは、どんなことですか？

(総数 511 件)

| | | |
|-----|------------|------|
| 1位 | 地域活動の整理 | 31 件 |
| 2位 | 防犯設備の拡充 | 25 件 |
| 3位 | 地域のモラル向上 | 22 件 |
| 4位 | 災害対策の設備整備 | 21 件 |
| 5位 | 広報活動の強化 | 20 件 |
| 6位 | 安全安心な環境作り | 20 件 |
| 7位 | 防災面の強化 | 18 件 |
| 8位 | 交通安全の強化 | 17 件 |
| 9位 | 交通の便の改善 | 16 件 |
| 10位 | 高齢者の交流の場作り | 15 件 |

住民アンケートからワークショップへ

- ・ 平成30年10月 河曲地区広報配布世帯にアンケート実施
- ・ 平成31年3月 河曲地区広報配布世帯にアンケート結果を広報で報告
- ・ 開催日時 令和元年10月29日(火)18:30～ 河曲公民館
対象者 協議会役員・自治会長・地域支援職員
内 容 ワークショップで河曲地区全体の目指すべき姿の決定
- ・ 開催日時 令和元年11月13日(水)18:30～ 河曲公民館
対象者 協議会役員・自治会長・地域支援職員
内 容 ワークショップで河曲地区の課題と宝物の洗い出し、取組の優先順位づけ
- ・ 開催日時 令和2年1月25日(土)19:00～ 河曲公民館
対象者 協議会役員・河曲公民館運営委員会・公民館活動推進委員・河曲公民館サポーター・河曲地区自治会総代会・河曲地区体育委員会・地域支援職員
内 容 ワークショップで各活動団体の現在の取組とこれからの取組を整理し、河曲地区の課題解決を目指す目標のまとめ
- ・ 開催日時 令和2年1月30日(木)18:30～ 河曲公民館
対象者 協議会役員・河曲小学校学校運営協議会・河曲小学校・河曲小学校PTA・神戸中学校・神戸中学校PTA・河曲地区青少年育成町民会議・三重県安全安心まちづくりプログラム地域リーダー、河曲地区パトロール隊・河曲地区防犯委員会・神戸交番連絡協議会・河曲地区自治会総代会・鈴鹿市消防団河曲分団・河曲地区民生委員児童委員会・河曲地区農業委員会・地域支援職員等
内 容 ワークショップで各活動団体の現在の取組とこれからの取組を整理し、河曲地区の課題解決を目指す目標のまとめ
- ・ 開催日時 令和2年2月26日(水)18:30～ 河曲地区市民センター
対象者 協議会役員・河曲地区自治会総代会
内 容 河曲地区地域計画のまとめ

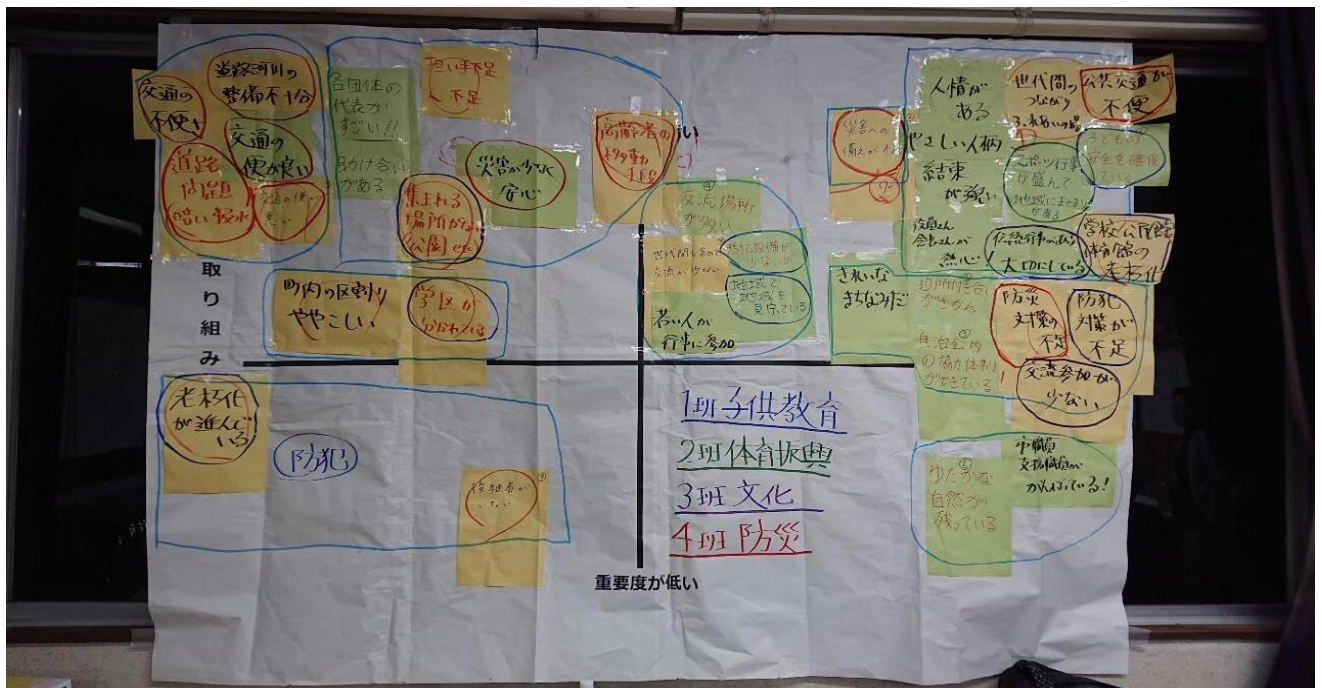
※ワークショップ・・・多人数で意見交換を行い、課題解決の方向性を検討する場

【ワークショップの結果】

『河曲地区はどんなまちだと思いますか？』を参考に、地区としての重点取組項目を決めました。

| 重点取組項目 | 内容 |
|--------|--|
| 子ども・教育 | 子どもの安全を確保する取組を教育の視点から学校と地域で考えて、防犯を始めとして、交通安全や学区問題や教育施設まで考えましょう。 |
| 体育振興 | スポーツ行事が盛んな河曲地区の特性を生かし、地域のつながりを大切に、コミュニティの基盤を作りましょう。 |
| 文化 | 河曲地区には、伝統行事や歴史的な遺跡がたくさんあります。考古博物館は地域の宝物であるという思いを共有し、公民館を中心とした、地域のコミュニケーションとしての文化活動を広げましょう。 |
| 防災 | いつ来るか分からない災害に備えて、河曲地区を守るために防災減災への取組を進めましょう。また、災害弱者を中心とした防災福祉についても考えましょう。 |

<第1回ワークショップの全体結果>



住民アンケートの自由記述をもとに、各重点課題における宝物と課題を分析し、キャッチコピーをつけました。

【1班 子ども・教育】

『みんなで育む安全安心のまち』

| | 宝物 | 課題 |
|----|------------|----------------------|
| 1位 | 地域で作る安全安心 | 地域で子どもを見守る |
| 2位 | イベントが活発 | 地域のつながりの強化 |
| 3位 | 学校と地域の連携 | 子どもと地域のつながり |
| 4位 | 地域のつながりが強い | 情報発信で河曲に愛着、興味を持ってもらう |
| 5位 | 住みよい住環境 | 新しい意見を取り入れる |
| 6位 | — | 行事の整理 |

関係団体

河曲小学校学校運営協議会・河曲小学校・河曲小学校 PTA・神戸中学校・神戸中学校 PTA・河曲地区青少年育成町民会議・三重県安全安心まちづくりプログラム地域リーダー、河曲地区パトロール隊・河曲地区防犯委員会・神戸交番連絡協議会・河曲地区自治会総代会



<1班ワークショップ結果>



<2班ワークショップ結果>

【2班 体育振興】

『老いも若きもいきいきスポーツ』

| | 宝物 | 課題 |
|----|------------|------------------|
| 1位 | 活発な地域活動の維持 | 世代を超えた縦の繋がり |
| 2位 | 人材育成 | 行事の整理<スクラップ&ビルド> |
| 3位 | 元気な高齢者活用 | 情報発信して興味愛着 |

関係団体

河曲地区体育委員会・河曲地区自治会総代会



【3班 文化】

『発掘！河曲の歴史！』

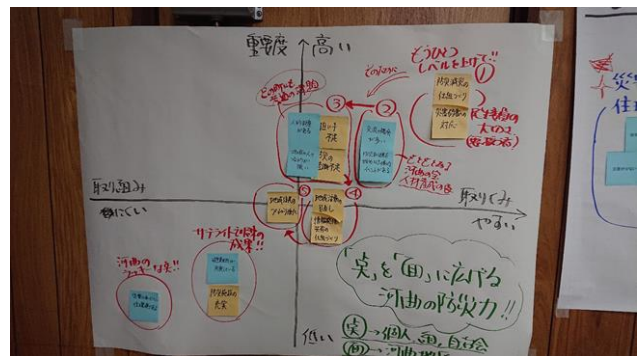
| | 宝物 | 課題 |
|----|-------------------------------|-------------------|
| 1位 | 長く受け継がれている伝統文化を大切にしている | 地域の伝統文化を活かしきれていない |
| 2位 | 考古学博物館がある | 観光資源のPRが足りない |
| 3位 | 新しい事柄も入れて子どもがイベントを楽しめるようにしている | 地域活動への参加意識が低い |
| 4位 | 地域の団結が強い | 若い世代向けのイベントが少ない |
| 5位 | 災害が少ない土地 | 活動の担い手が不足している |
| 6位 | 自然豊かで静かな環境 | 地域活動の負担が大きい |
| 7位 | — | 新しい住民との交流が少ない |
| 8位 | — | 公民館が古い |

関係団体

河曲公民館運営委員会・公民館活動推進委員・河曲公民館サポーター・河曲地区自治会総代会



<3班ワークショップ結果>



<4班ワークショップ結果>

【4班 防災】

『「点」を「面」に広げる河曲の防災力!!』

| | 宝物 | 課題 |
|----|----------------------|--------------|
| 1位 | 交流の機会が多い | 防災・減災の仕組づくり |
| 2位 | 防災訓練を始めとした様々なイベントがある | 災害弱者への対応 |
| 3位 | 人的財産がある | 担い手不足 |
| 4位 | 地域の人々のつながりが強い | 防災の意識不足 |
| 5位 | 避難所が充実している | 地域活動の見直し |
| 6位 | 災害にあいにくい住環境である | 情報発信共有の仕組づくり |
| 7位 | — | 地域住民のつながり強化 |
| 8位 | — | 防災施設の充実 |

関係団体

鈴鹿市消防団河曲分団・河曲地区民生委員児童委員会・河曲地区農業委員会
河曲地区自治会総代会

4 河曲地区地域づくりの基本方針と取組(課題別)

(子ども・教育)

| | |
|----------------------|--|
| みんなで育む安全安心のまちを目指します。 | |
| 活動団体 | 河曲小学校学校運営協議会・河曲小学校・河曲小学校PTA・神戸中学校・神戸中学校PTA・河曲地区青少年育成町民会議、河曲地区パトロール隊・河曲地区防犯委員会・神戸交番連絡協議会・河曲地区自治会総代会 |
| 活動方針 | 河曲地区全体での『ながらパトロール』を実施します。 |
| 具体的には | <p>現在、市内で2箇所あるゾーン30のうち1箇所が河曲地区にあります。しかし、今もなお、速度超過の車両を多数見かけ、通学途中の子どもたちの安全が心配されています。</p> <p>子どもたちの青少年健全育成と安全安心を守る活動をする団体が協力し合い、活動の情報発信から始め、河曲地区住民全員が地域をパトロールしているという意識を持てるよう『ながらパトロール』を推進します。</p> |

※ながらパトロール…買い物や通勤等の、日常生活をしながら行うパトロール

(体育振興)

| | |
|-----------------------|---|
| 老いも若きもいきいきスポーツを目指します。 | |
| 活動団体 | 河曲地区体育委員会・河曲地区自治会総代会 |
| 活動方針 | 河曲地区のみんなが参加できるような催しを考えます。 |
| 具体的には | <p>河曲地区ではスポーツ活動が盛んですが、少子高齢化の社会事情も考え、地域の誰もが参加できるイベントの実施を目指します。</p> <p>既存の競技を整理して、勝ち負けにこだわらない子どもから高齢者まで参加できるレクリレーションの要素を取り入れ、今よりも河曲の絆を深め、広げるスポーツ活動を推進します。</p> |

(文化)

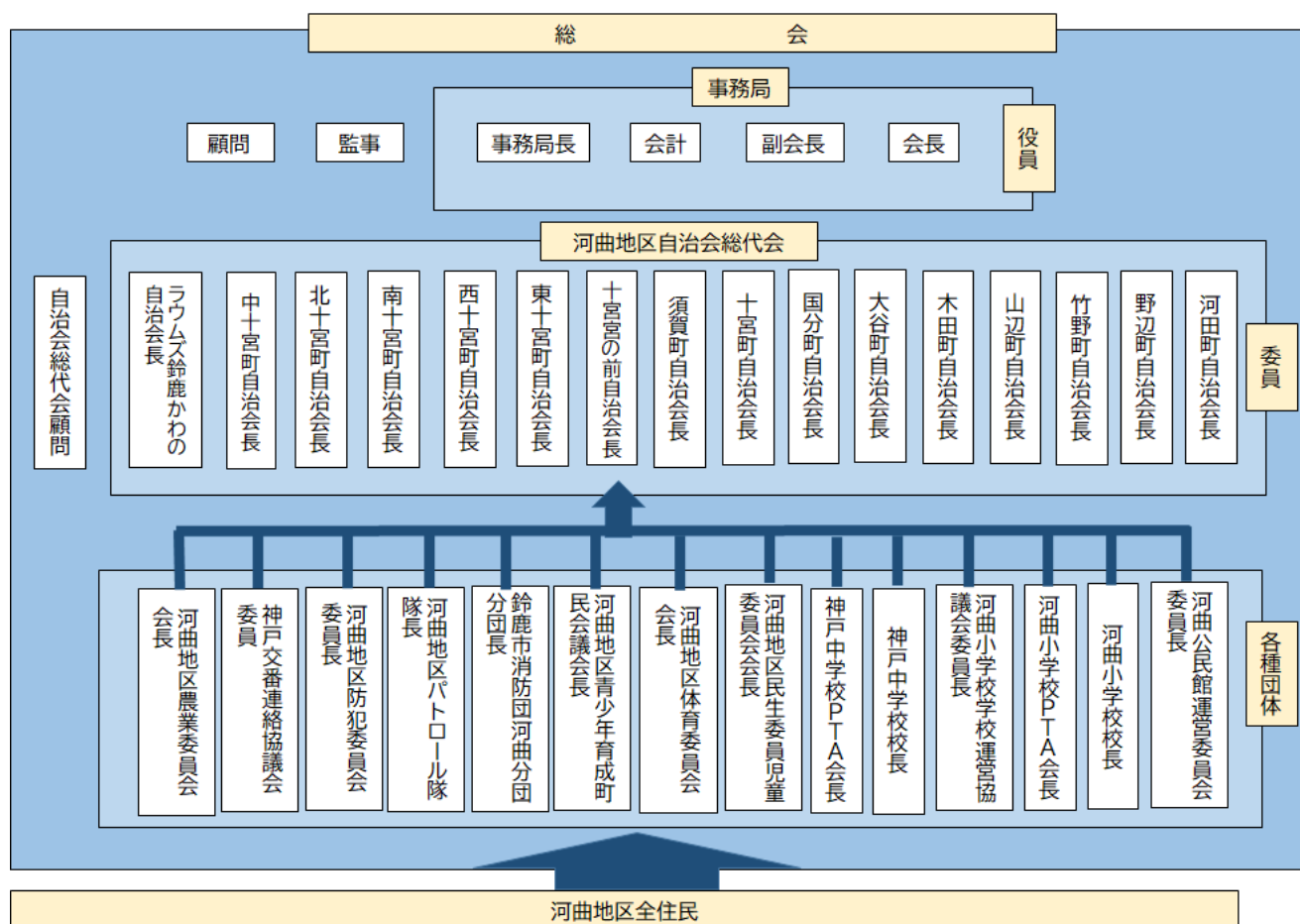
| | |
|------------------|---|
| 発掘！河曲の歴史！を目指します。 | |
| 活動団体 | 河曲公民館運営委員会・公民館活動推進員・河曲公民館サポーター・河曲地区自治会総代会 |
| 活動方針 | 河曲ならではの文化をつなぎます。 |
| 具体的には | <p>河曲地区の文化活動の中心である公民館と考古博物館を利用して、河曲全体での地域遺産を活用した行事で地域の良さを子どもたちに伝え、人つなぎをします。</p> <p>考古博物館の歴史文化公園のこけら落としを機に、地域全体で継承できるイベントを河曲地区全自治会で開催し、河曲小学校・神戸中学校・PTA と共に『河っ子』に地域の歴史と文化を伝えます。</p> |

※河っ子・・・河曲地区の児童の愛称

(防災)

| | |
|----------------------------|---|
| 「点」を「面」に広げる河曲の防災力!!を目指します。 | |
| 活動団体 | 鈴鹿市消防団河曲分団・河曲地区民生委員児童委員会・河曲地区農業委員会・河曲地区自治会総代会 |
| 活動方針 | 防災・減災の仕組み(地区防災計画)づくりをします。 |
| 具体的には | <p>防災意識を向上させ、地域防災を促進し、災害弱者である高齢者の避難を考え、平時の見守りに繋げるよう、防災福祉についても考えます。</p> <p>自助共助の力をつけるために、防災訓練を継続しながら、河曲の危険個所を地域で把握します。</p> <p>『河っ子』たちの防災意識を高めるために、家族で参加できる防災訓練を考えます。</p> <p>河曲地区の誰一人取り残すことなく、防災福祉に努めている民生児童委員の取組に地域全体でサポートできる仕組みづくりを推進します。</p> |

5 組織図



6 おわりに

人と人とのつながりが強い河曲地区ですが、確実に人口減少、少子高齢化は進んでおり、自治会によっては、既に担い手不足や空き家の増加、近所づきあいの希薄化など、様々な問題に直面しています。

河曲地区地域計画は、これらの問題を解決し、皆さまが生まれ育った河曲地区を守っていくために、河曲地区地域づくり協議会に関心を持っていただき、活動に参加いただけるよう、地域をつなぐ活動や思いを『見える』形にしたものです。

河曲地区の皆さまがつながり、故郷を支える担い手となれるよう、河曲地区地域づくり協議会は、地域の皆さまが集まれる『場づくり』をこれからも進めます。

河曲地区地域づくり協議会